

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころとことばの教室こっこ 葛西校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 4日 ～ 2024年 12月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日 ～ 2024年 12月 18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	・個別療育において、周りの環境の影響を受けやすいお子さんは、相談室（個室）を使用している。 ・特に時間の長いおやこっこでは、こどもの様子に合わせて使用できるよう別室を用意しており、実際に利用するケースも多い。	・限られた環境の中ではあるが、パーテーション同士の間隔や机の向きを工夫し、こどもが療育に取り組みやすい環境を設定する。
2	・個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	・成長確認シートを踏まえ、担当者会議も行うことで、お子さんを多角的に捉え、作成できている。	・成長確認シートや日々の振り返りの中で常に保護者主体を意識する ・利用者のニーズを目的とした具体的な支援内容を個別支援計画に反映されるように
3	・利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	・お子さんの様子に合わせて、G遊びなどもスタッフ人数を臨機応変に配置出来ていると思う。	・必要と思う人数が、経験数や立場によって異なっている為、教室で共有し、対応する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	・研修機会はあるが、日々の業務で手一杯であり、自己研鑽に充てるための時間は自発的には作りづらい。 ・研修の機会はあるが、業務時間内に研修動画等を視聴することが難しい。	・療育準備や記録に必要な時間を考え、計画的に視聴時間が確保できるよう工夫する。
2	・利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	・個別対応が必要なお子さんが多い、スタッフの休みが生じると教室スタッフだけでは補いきれないことが多い等の状況から、職員の配置数にもう少し余裕があるとよい。 ・職員の急な休みの時は、教室内で業務を分担するか他校からhelp頂いているが、配員数の見直しが必要。	・スタッフが欠席した際に、スタッフの補填だけを解決策とせずプログラムや設定によって体制を整えられないか検討する。
3	・第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	・外部評価を行っているかどうかはわからない。	・教室、法人の課題について外部の評価や意見を求めていることをスタッフに周知し、業務改善に繋げる。